武蔵野大学MCMEセミナー

Musashino Center of Mathematical Engineering Seminar

第92回

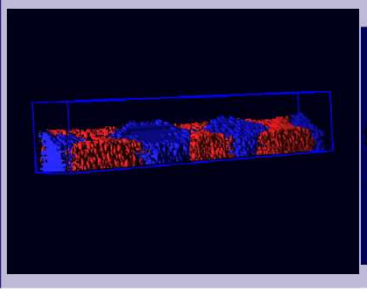
柳田 達雄 氏

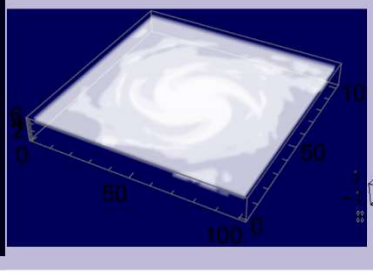
(大阪電気通信大学 工学部基礎理工学科)

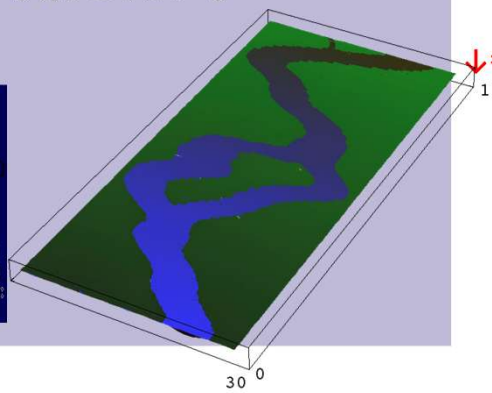


局所相互作用から生まれる巨視的なパターン形成

自然界には、局所的な相互作用から巨視的な空間構造が自発的に形成される現象が数多く存在する。本講演では、まずセルオートマトン（CA）による回転円筒中の粉体分離とバンド形成を紹介する。次に、結合写像格子（CML）を用いた雲・台風の渦やスパイラル構造の形成を取り上げ，最後に、偏微分方程式（PDE）による河川の流れと地形変化のモデルを紹介する。これらの異なる数理的記述を比較し、局所的な力学過程と非線形フィードバックが巨視的なパターンを生み出す仕組みについて考察したい。







↓参加登録はこちら↓

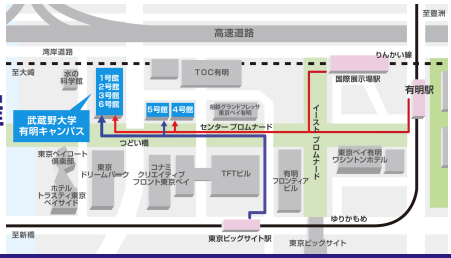
12月4日 (金) 17:00-18:20

武蔵野大学有明キャンパス，4号館411教室, ハイブリッド開催

参加ご希望の方は，右上のQRコードより参加登録をお願いいたします.

参加費無料 **登録締切： 12/3（木）**

国際展示場駅 徒歩７分
東京ビッグサイト駅　徒歩6分



コーディネーター：高石 武史（武蔵野大学工学部数理工学科　教授）

問い合わせ先： 武蔵野大学数理工学センター
https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/

世界の幸せをカタチにする。
Musashino University